



学校だより

4月号


<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakawada/>

学校ホームページです。ぜひご覧ください



「ご入学・ご進級おめでとうございます」

校長 山中 卓

正門スロープの桜は、満開の時期を越え、少しずつ葉桜へと姿を変えつつあります。

春の訪れとともに、本日、新1年生100名が入学し、また2年生以上の学年には転入生を迎え、全校児童592名で令和8年度の教育活動がスタートしました。

新しい学年を迎えた子どもたちは、それぞれに期待と少しの緊張を胸に、元気に登校してきました。保護者の皆様におかれましては、お子さまのご入学・ご進級、誠におめでとうございます。

このたび、本校に着任いたしました校長の 山中 卓(やまなか たかし) と申します。

私はこれまで、隣の和泉小学校において、同じ地域で学ぶ子どもたちの成長を見守ってまいりました。近隣校からの着任ということもあり、本校を初めて訪れた際にも、不思議と初めての場所という感覚はなく、温かな親しみを感じました。校庭に響く子どもたちの元気な声、そして職員の温かな声かけに迎えられ、本校が長年大切にしてきた雰囲気や文化の一端を感じることができました。このような温もりある学校で教育活動の舵取りを任せられることを、大きな喜びであると同時に、強い責任として受け止めています。

前任の高嶋校長先生の後を引き継ぎ、創立135年目を迎える歴史と伝統をもつ中和田小学校の校長として、子どもたちの成長に関われることを大変うれしく思います。これまで地域とともに歩んできた学校の歩みを大切にしながら、保護者・地域の皆様のご支援とご協力を得て、着実に学校運営を進めてまいります。

私は、教員として学校現場で働く経験に加え、飲食店の店長や保育園の園長として、人と関わる仕事にも携わってきました。どの仕事においても共通して感じてきたことは、「人と人のつながり」が人を育て、支えていくということです。

学校もまた、「人と人のつながり」の中で、信頼関係が育まれる場所だと考えています。

子どもたちが安心して学校生活を送り、学ぶことの楽しさを実感できること。

教職員が安心して力を発揮し、子どもたちと向き合えること。

この両立こそが、学校づくりの土台であると考えています。

私は、この「人と人のつながり」を、本校の学校運営の軸として位置付け、すべての教育活動において大切にしております。校長としての責任をもって、全教職員とこの思いを共有し、実践していく決意です。

中和田小学校は、長い歴史の中で、地域の皆様に支えられながら歩んできた学校です。これまで受け継がれてきた学校の良さを大切にしながら、子どもたち一人ひとりの健やかな成長を第一に考え、学校づくりを進めていきたいと考えています。そのためにも、まずは学校のこと、子どもたちのこと、そして保護者や地域の皆様の思いに、校長として真摯に耳を傾けていくことから始めてまいります。

子どもたちには、「校長先生は、みなさんとお話することを楽しみにしています。朝、校門や校内で会ったときには、元気にあいさつをしてください。校長先生から『調子は?』と声をかけることもあります。みなさんの毎日の学校生活の様子を、会話を通して知ることができたらうれしいです。」と伝えました。

学校教育は、学校だけで完結するものではありません。

保護者の皆様、地域の皆様とともに子どもたちを見守り、育てていくことが、何よりも大切であると考えています。校長として、この連携を大切に、開かれた学校づくりを進めてまいります。

学校で私を見かけた際には、どうぞ気軽にお声をかけてください。皆様のお話に耳を傾けることも、校長としての大切な役割の一つだと考えています。

本年度も、中和田小学校の教育活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。